

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	星うさぎ		
○保護者評価実施期間	R7年1月6日		~ R7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	R7年1月15日		~ R7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月12日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方々が安心して仕事ができるように学校休日は8時~18時00分まで開所し延長利用ができる。	この時間帯柔軟に利用できるようにしている。	職員の理解を得ながら継続していきたい。
2	活動プログラムが固定しないように工夫している。	子ども達にどのような活動プログラムが必要なのかを職員同士で内容を決めながら取り組んでいる。	利用年齢の幅が広いので、高学年・低学年・未就学にあわせた柔軟性のある5領域のプログラムを構築していきたい。
3	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあっている。	連絡ノート、ライン、活動写真にて様子等の情報共有をしている。	今後は定期的におたより等の発行を視野にいれていきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員同士の情報の共有ができていない。	情報の共有の為にどの様にすればよいかと会議等で議題として挙げるが、時間差出勤等でうまくいかない。	通常日は14時からミーティングで打ち合わせ等をするので、継続しながら時間差出勤者への情報共有のあり方をみていく。
2	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定できていない。	活動プログラムが固定しないように工夫はしているが、きめ細やかな課題設定ができていない。	一人ひとりの課題とプログラムのすり合わせを随時していく。
3	職員の質の向上。(外部研修の参加)	基準以上の職員を配置していても、送迎等で職員が必要となるため、外部研修への参加が少ない。	職員の協力を得ながら、職員の質的向上を図るために外部研修の参加をしていく。